

杉浦定期能

令和八年十二月十九日（土）　午後一時開演（十二時開場）

於　京都観世会館
左京区岡崎円勝寺町四四

＊入場料（全館自由席）
前売券　4,000 円 / 当日券　4,500 円 / 学生券　2,000 円

＊お問い合わせ・お申込み

杉浦定期能楽会事務局　Tel/Fax　０７５－４６２－２６６５
Email　toyo@noh-sugiura.com
URL　https://www.noh-sugiura.com
TEL　０７５－７７１－６１１４

京都観世会館
杉浦同門宅

出本勝範（082-221-0095）/岡田すみ子(079-222-5362)
金子　昭（06-6841-2769・akaneko217@tcct.zaq.ne.jp）
塚本和雄（0748-48-2629）/戸川瑞穂（072-433-3825）
松井美樹（miki.20030517@gmail.com）

お申込みフォーム

主催　杉浦定期能楽会

番組（七十六ノ二）

十二時五十分　能のお話

一時　（能）

通小町

小野小町　寺澤拓海
深草少将ノ怨霊　金子　昭
僧　村山　弘
大鼓　河村　大
小鼓　吉阪一郎
笛　左鴻泰弘

――休憩十分――

（仕　舞）
籠太鼓　井上嘉介
山姥キリ　林喜右衛門

（狂　言）
口真似
太郎冠者　茂山忠三郎
主　山口耕道
客　小斉平真路

――休憩十分――

（仕　舞）
船弁慶キリ　松井美樹

（能）
龍田
神巫　龍田姫神　杉浦豊彦
従僧　原　陸
旅僧　原　大
従僧　岡　充
大鼓　石井景之
小鼓　曽和鼓堂
太鼓　前川光長
笛　森田保美
神楽留　里人山本善之

附祝言
終了予定五時頃

後見・地割

出本勝範	橋本忠樹	井上裕之真	寺澤拓海
樹下千慧	吉浪壽晃	橋本忠樹	松野浩行
河村浩太郎	塚本和雄	味方　團	樹下千慧
松井美樹	浦部幸裕	浦部幸裕	味方　團
橋本光史	井上裕之真	松野浩行	河村浩太郎
樹下千慧	橋本光史	井上嘉介	林喜右衛門
吉浪壽晃	吉浪壽晃	河村和貴	田茂井廣道
田茂井廣道	田茂井廣道		
橋本光史	山本善之		

通小町

八瀬の里で仏道修行中の僧のもとに一人の女が毎日木の実や薪を持ってくる。今日もやってきた女は木の実尽くしの物語などし、僧に素姓を問われると市原野に住む姥であると言い残して姿を消す。女が小町だと察した僧は市原野に行き、小町を弔う。すると薄の中から小町の亡霊が現れ、授戒を請う。続いて深草少将の亡霊が現れ、小町の成仏を妨げる。僧は少将の霊に懺悔のため百夜通いの様を見せるように言う。少将は九十九夜まで通いあと一夜というところで死した百夜通いの様を再現し、少将は飲酒戒をたもっていたため二人は僧の授戒により成仏する。

龍田

日本六十余州に納経を志す僧が南都から河内にむかう途中、龍田明神に参詣の為薄氷の張った龍田川を渡ろうとする。すると一人の巫女が現れ、紅葉の錦を絶ってはならないと古歌を引いて僧を止める。巫女は別の道から社殿に案内し、紅葉が神木だと語り、自分は龍田姫だと名乗って社檀の中へ姿を消す。

里人が龍田明神や龍田姫の由来などを語ると、社檀から龍田姫が現れ、龍田明神の威徳を讃え、縁起を語り紅葉が散り飛ぶ中虚空へと姿を消す。

神楽留の小書（特殊演出）がつくと舞（神楽）や装束が常と変る。

◆お客様へお願い

※事務局で許可した以外の方の写真撮影、ビデオ撮影、録音はお断りいたします。
※場内では携帯電話等の電源はお切りください。
※都合により出演者に変更がある場合がございます。予めご了承ください。
※東隣に有料駐車場がございます。

★次回予告　夜能

令和９年６月11日（金）午後６時始

小鍛冶　重キ黒頭　杉浦豊彦

京都観世会館案内図



JR京都駅より
・京都駅前バス乗り場A1より市バス５系統「岡崎公園　美術館・平安神宮前」下車、D2より86・206系統「東山仁王門」下車
・地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて地下鉄東西線に乗換「東山駅」下車１番出口より徒歩約５分

四条河原町より
・バス乗り場Eより市バス31・46・201・203系統「東山仁王門」下車

京阪三条駅より
・市バス５系統「岡崎公園　美術館・平安神宮前」下車
・地下鉄東西線乗換に「東山駅」下車